

令和5年度 地域福祉活動支援事業 ホームページ用報告書

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、助成事業の概要を簡潔に記入してください。

※必要事項を記入または 1 ページ以内に収まるよう作成

団体名	アートステージ		
団体の属性	<input type="checkbox"/> セルフヘルプグループ・当事者等		<input checked="" type="checkbox"/> ボランティアグループ等
	<input type="checkbox"/> 市町村社協やそれを構成員とする実行委員会等		
助成区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般助成	<input type="checkbox"/> 協働モデル助成	協働モデル助成 本会提示テーマ
助成事業名	ハンデのある人のアートスタンプラリーの開催		
事業の目的	障がい者や引きこもりの人の作品の発表の機会を提供し、地域との交流促進とアート作家としての自立を支援する。		
事業概要	座間市内の障がい者施設で創作している作品やグッズを展示し、それぞれを巡り3つスタンプを集めたら景品をプレゼントするというアートスタンプラリーを実施。当初想定を大きく上回る11カ所の施設が参加され、各施設にはポスターと手製のスタンプセットを配布し、7月20日～8月20日の1カ月間開催した。最終週の8月14日～20日は座間神社ギャラリーで景品交換と同時に障がい者作品展（三人展）も開催。三人展は作品をプリントしたオリジナルグッズも創作し、作者と一緒に展示販売を試み販売につなげた。景品については、缶バッジマシーンによるオリジナル缶バッジをその場で自作してもらった。特に各施設からも多くの利用者様が来場され、今までにない楽しい経験と交流の機会を提供することができた。		
成果や課題	景品交換者が69名、三人展来場者は200名を超え、初めて福祉施設を回った方や障がい者アート作品を見た方も多く障がい福祉に触れる良い機会を提供することができた。三人展は作者自ら来場者に初めて作品を説明し売り上げもあり、作者の創作活動や生きる糧として大きな励みとなった。課題としては、景品交換時期がお盆休みと重なる施設が多かったため、見学期間が少なかった。開催時期の再検討が必要。又地域的に離れている施設もあったので施設訪問に偏りが生まれた。地理的なハンデを無くすためにも参加施設の拡大と広報に注力したい。		
今後の展望	今回市の障がい福祉課や障がい者福祉団体とつながり、事業の理解を深めていただいたことで、事業の拡大に協力が得られる見通しが立った。さらに市内の店舗や福祉に理解のある企業、隣接する他市の関連福祉団体とも連携し、誰もが触れやすい「まちなか応援アートスタンプラリー」として障がい者アートが身近なものになるように努めたい。		
活動の様子が分かる画像 2枚程度添付	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>障がい者施設展示例</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>三人展の様子</p> </div> </div>		